

曰ん罰せらるべき者よ我を離れて惡魔及其使者の爲に備たる焼ざる火に入よ 蓋なんんから我が飢の時わ
れに食せず渴ほどき我に飲せず 旅せし時われを宿させず 釋かりし時われを衣す 病また癒に在し時われ
を癒され也 是に於て彼等また答て曰ん主よ何時なんんの飢また渴また旅し又釋また病また癒に在を
見て主に事ざりしや 其とき王てたへて彼等にいつたん我まことに爾曹に告ん此最微者の一人に行きざ
るハ即ち我亦行はざりし也 此等の者ハ罪なき刑罰にハ義者ハ罪なき生命に入べし

第二十七節 儲イエスこの語の言を言賣りて其弟子に曰けるハ 二日ばかり逾越節あるハ爾曹が知
てる也 人の子ハ十字架に釘られん爲に付ざるべし 此とき祭司の長老よび民の長老等カヤバと云る
祭司の長の邸の庭に集り 詭計をもてイエスを執へ 殺さんと共々謀ひひける 祭の日に行へばから
宗恐くハ民の中に亂おたらん ○イエスマニハ瘋病シモノの家に居たまへる時 ある婦燭石の器物
に價たかき香膏を盛てイエスの食する所に携來り 其首に搗しかば 弟子等これを見て怒を含ひひけるハ
此糜費の事を爲ハ何故や 若これを買ば多の金を得て貧者に施すことを得ん イエス知て彼等に曰
けるハ 何ふ此婦を憫すや 彼ハ我に善事を行へ也 貧者ハ常に爾曹と借にわれど 我ハ常に爾曹と借に在
す 彼がこの香膏を我體に搗しハ 我の葬の爲に行る也 われ誠に爾曹に告ん天の下いつくにても此福音
の宣傳らるゝ處にハ 此婦の行し事もの記念の爲に言傳らるべし ○其とき十二弟子の一人なるイエスカ
リカラのユダと云るもの祭司の長等の所に往て曰けるハ 我なんんからに彼を買さば幾何するか 遂に銀
三十にて約したり 此時よりイエスを賣さんと機を窺ひぬ ○除酵節の首の日弟子イエスに來り曰
けるハ 我賣すきこの食を爾の爲に何處も備ふべき乎 イエス曰けるハ 京城にハ 某に至ていへ 脚いふ

マ太六八本七五節
マ太六八本七六節
マ太六八本七七節
マ太六八本七八節
マ太六八本七九節
マ太六八本八〇節
マ太六八本八一節
マ太六八本八二節
マ太六八本八三節
マ太六八本八四節
マ太六八本八五節
マ太六八本八六節
マ太六八本八七節
マ太六八本八八節
マ太六八本八九節
マ太六八本九〇節
マ太六八本九一節
マ太六八本九二節
マ太六八本九三節
マ太六八本九四節
マ太六八本九五節
マ太六八本九六節
マ太六八本九七節
マ太六八本九八節
マ太六八本九九節
マ太六八本一〇〇節
マ太六八本一〇一節
マ太六八本一〇二節
マ太六八本一〇三節
マ太六八本一〇四節
マ太六八本一〇五節
マ太六八本一〇六節
マ太六八本一〇七節
マ太六八本一〇八節
マ太六八本一〇九節
マ太六八本一一〇節
マ太六八本一一一節
マ太六八本一一二節
マ太六八本一一三節
マ太六八本一一四節
マ太六八本一一五節
マ太六八本一一六節
マ太六八本一一七節
マ太六八本一一八節
マ太六八本一一九節
マ太六八本一二〇節
マ太六八本一二一節
マ太六八本一二二節
マ太六八本一二三節
マ太六八本一二四節
マ太六八本一二五節
マ太六八本一二六節
マ太六八本一二七節
マ太六八本一二八節
マ太六八本一二九節
マ太六八本一三〇節
マ太六八本一三一節
マ太六八本一三二節
マ太六八本一三三節
マ太六八本一三四節
マ太六八本一三五節
マ太六八本一三六節
マ太六八本一三七節
マ太六八本一三八節
マ太六八本一三九節
マ太六八本一四〇節
マ太六八本一四一節
マ太六八本一四二節
マ太六八本一四三節
マ太六八本一四四節
マ太六八本一四五節
マ太六八本一四六節
マ太六八本一四七節
マ太六八本一四八節
マ太六八本一四九節
マ太六八本一五〇節
マ太六八本一五一節
マ太六八本一五二節
マ太六八本一五三節
マ太六八本一五四節
マ太六八本一五五節
マ太六八本一五六節
マ太六八本一五七節
マ太六八本一五八節
マ太六八本一五九節
マ太六八本一六〇節
マ太六八本一六一節
マ太六八本一六二節
マ太六八本一六三節
マ太六八本一六四節
マ太六八本一六五節
マ太六八本一六六節
マ太六八本一六七節
マ太六八本一六八節
マ太六八本一六九節
マ太六八本一七〇節
マ太六八本一七一節
マ太六八本一七二節
マ太六八本一七三節
マ太六八本一七四節
マ太六八本一七五節
マ太六八本一七六節
マ太六八本一七七節
マ太六八本一七八節
マ太六八本一七九節
マ太六八本一八〇節
マ太六八本一八一節
マ太六八本一八二節
マ太六八本一八三節
マ太六八本一八四節
マ太六八本一八五節
マ太六八本一八六節
マ太六八本一八七節
マ太六八本一八八節
マ太六八本一八九節
マ太六八本一九〇節
マ太六八本一九一節
マ太六八本一九二節
マ太六八本一九三節
マ太六八本一九四節
マ太六八本一九五節
マ太六八本一九六節
マ太六八本一九七節
マ太六八本一九八節
マ太六八本一九九節
マ太六八本二〇〇節
マ太六八本二〇一節
マ太六八本二〇二節
マ太六八本二〇三節
マ太六八本二〇四節
マ太六八本二〇五節
マ太六八本二〇六節
マ太六八本二〇七節
マ太六八本二〇八節
マ太六八本二〇九節
マ太六八本二一〇節
マ太六八本二一一節
マ太六八本二一二節
マ太六八本二一三節
マ太六八本二一四節
マ太六八本二一五節
マ太六八本二一六節
マ太六八本二一七節
マ太六八本二一八節
マ太六八本二一九節
マ太六八本二二〇節
マ太六八本二二一節
マ太六八本二二二節
マ太六八本二二三節
マ太六八本二二四節
マ太六八本二二五節
マ太六八本二二六節
マ太六八本二二七節
マ太六八本二二八節
マ太六八本二二九節
マ太六八本二三〇節
マ太六八本二三一節
マ太六八本二三二節
マ太六八本二三三節
マ太六八本二三四節
マ太六八本二三五節
マ太六八本二三六節
マ太六八本二三七節
マ太六八本二三八節
マ太六八本二三九節
マ太六八本二四〇節
マ太六八本二四一節
マ太六八本二四二節
マ太六八本二四三節
マ太六八本二四四節
マ太六八本二四五節
マ太六八本二四六節
マ太六八本二四七節
マ太六八本二四八節
マ太六八本二四九節
マ太六八本二五〇節
マ太六八本二五一節
マ太六八本二五二節
マ太六八本二五三節
マ太六八本二五四節
マ太六八本二五五節
マ太六八本二五六節
マ太六八本二五七節
マ太六八本二五八節
マ太六八本二五九節
マ太六八本二六〇節
マ太六八本二六一節
マ太六八本二六二節
マ太六八本二六三節
マ太六八本二六四節
マ太六八本二六五節
マ太六八本二六六節
マ太六八本二六七節
マ太六八本二六八節
マ太六八本二六九節
マ太六八本二七〇節
マ太六八本二七一節
マ太六八本二七二節
マ太六八本二七三節
マ太六八本二七四節
マ太六八本二七五節
マ太六八本二七六節
マ太六八本二七七節
マ太六八本二七八節
マ太六八本二七九節
マ太六八本二八〇節
マ太六八本二八一節
マ太六八本二八二節
マ太六八本二八三節
マ太六八本二八四節
マ太六八本二八五節
マ太六八本二八六節
マ太六八本二八七節
マ太六八本二八八節
マ太六八本二八九節
マ太六八本二九〇節
マ太六八本二九一節
マ太六八本二九二節
マ太六八本二九三節
マ太六八本二九四節
マ太六八本二九五節
マ太六八本二九六節
マ太六八本二九七節
マ太六八本二九八節
マ太六八本二九九節
マ太六八本三〇〇節

我が時近きければ我弟子と借に逾越の節筵を爾が家に行べし 弟子イエスに命せられし如して逾越の
食を備ふ 日くる 時イエス十二弟子と借に席に就 食する時いつひけるハ 我まことに爾曹に告ん爾曹の
うち一人我を買あり 彼等いつくも 疑て各イエスに曰けるハ 主よ 我なる乎 答て曰けるハ 我と借に手
を置に著る者ハ 即ち我を買す者なり 人の手ハ已にいついて録されたる如く 逝ん 然んば 人の手を買す者ハ 罪
なる哉 人の人生れざりしからば 反て幸ありしならん 彼を買すコタ答て曰けるハ 主よ 我あるや 之に曰け
るハ 爾の言る如し 三 かれら食する時 イエスハ 餅を取て 祝し之をさき弟子に予て曰けるハ 取て食て 此ハ 我
身なり 又た 餅を取て 諸し 彼等に予て曰けるハ 爾曹みな 此餅より 飲て 此餅の 我血にして 罪を赦さん
どて 衆の 人の 爲に 流所のもの也 五 われ 爾曹に 告ん 今より 後なんんがら 借に 新しき 物を 我の 國に 飲ん 日
まで 再び この 葡萄にて 造れる 物を 飲べ 〇 かれら 歌を 謳て のち 橄欖山に 往り 其時 イエス 彼等に 曰け
るハ 今夜 なんんがら 皆われに 就て 寝かん 蓋われ 牧者を 撃バ 群の 綿羊 ちらん 録され たらば 也 然ど 我 難ん
て 後 なんんがら 先に ガリヤに 往べし 三 答て イエスに 曰ける ハ 皆なんんがら 就て 寝かん ども 我ハ 終に
癒かじ 一 イエス 彼に 曰ける ハ 我まことに 爾に 告ん 今夜 爾曹が ぎる 前に 爾三 次 われを 知す と言ん 一 イエス
彼に 曰ける ハ 我ハ 手と 借に 死る ども 爾を 知す と言ん 弟子 みな 如此 といへり 〇 厥時 イエス 彼等と 借に 三
セマ子 といふ 處に 至て 弟子等に 曰ける ハ 爾曹て 坐われ 彼處に 往て 祈ん 一 イエス 及て セマ子の 二八
の子を 携へ 憂ひ 哀みを 催し 彼等に 曰ける ハ 我心いつくも 憂て 死る ども かり也 かく 借に 目を 醒し
をれ 少く 進往て 以れん 祈ひ ける ハ 我父よ 若か ならん 此物を 我より 離ち 給へ 然ど 我の 心を 成ん 心
するに 非ず 聖旨に 任せ 給へ 而して 弟子に 來り 其 寝たる を見て 一 イエスに 曰ける ハ 如此 一時も 我と 借に 目

マ太六八本七五節
マ太六八本七六節
マ太六八本七七節
マ太六八本七八節
マ太六八本七九節
マ太六八本八〇節
マ太六八本八一節
マ太六八本八二節
マ太六八本八三節
マ太六八本八四節
マ太六八本八五節
マ太六八本八六節
マ太六八本八七節
マ太六八本八八節
マ太六八本八九節
マ太六八本九〇節
マ太六八本九一節
マ太六八本九二節
マ太六八本九三節
マ太六八本九四節
マ太六八本九五節
マ太六八本九六節
マ太六八本九七節
マ太六八本九八節
マ太六八本九九節
マ太六八本一〇〇節
マ太六八本一〇一節
マ太六八本一〇二節
マ太六八本一〇三節
マ太六八本一〇四節
マ太六八本一〇五節
マ太六八本一〇六節
マ太六八本一〇七節
マ太六八本一〇八節
マ太六八本一〇九節
マ太六八本一一〇節
マ太六八本一一一節
マ太六八本一一二節
マ太六八本一一三節
マ太六八本一一四節
マ太六八本一一五節
マ太六八本一一六節
マ太六八本一一七節
マ太六八本一一八節
マ太六八本一一九節
マ太六八本一二〇節
マ太六八本一二一節
マ太六八本一二二節
マ太六八本一二三節
マ太六八本一二四節
マ太六八本一二五節
マ太六八本一二六節
マ太六八本一二七節
マ太六八本一二八節
マ太六八本一二九節
マ太六八本一三〇節
マ太六八本一三一節
マ太六八本一三二節
マ太六八本一三三節
マ太六八本一三四節
マ太六八本一三五節
マ太六八本一三六節
マ太六八本一三七節
マ太六八本一三八節
マ太六八本一三九節
マ太六八本一四〇節
マ太六八本一四一節
マ太六八本一四二節
マ太六八本一四三節
マ太六八本一四四節
マ太六八本一四五節
マ太六八本一四六節
マ太六八本一四七節
マ太六八本一四八節
マ太六八本一四九節
マ太六八本一五〇節
マ太六八本一五一節
マ太六八本一五二節
マ太六八本一五三節
マ太六八本一五四節
マ太六八本一五五節
マ太六八本一五六節
マ太六八本一五七節
マ太六八本一五八節
マ太六八本一五九節
マ太六八本一六〇節
マ太六八本一六一節
マ太六八本一六二節
マ太六八本一六三節
マ太六八本一六四節
マ太六八本一六五節
マ太六八本一六六節
マ太六八本一六七節
マ太六八本一六八節
マ太六八本一六九節
マ太六八本一七〇節
マ太六八本一七一節
マ太六八本一七二節
マ太六八本一七三節
マ太六八本一七四節
マ太六八本一七五節
マ太六八本一七六節
マ太六八本一七七節
マ太六八本一七八節
マ太六八本一七九節
マ太六八本一八〇節
マ太六八本一八一節
マ太六八本一八二節
マ太六八本一八三節
マ太六八本一八四節
マ太六八本一八五節
マ太六八本一八六節
マ太六八本一八七節
マ太六八本一八八節
マ太六八本一八九節
マ太六八本一九〇節
マ太六八本一九一節
マ太六八本一九二節
マ太六八本一九三節
マ太六八本一九四節
マ太六八本一九五節
マ太六八本一九六節
マ太六八本一九七節
マ太六八本一九八節
マ太六八本一九九節
マ太六八本二〇〇節
マ太六八本二〇一節
マ太六八本二〇二節
マ太六八本二〇三節
マ太六八本二〇四節
マ太六八本二〇五節
マ太六八本二〇六節
マ太六八本二〇七節
マ太六八本二〇八節
マ太六八本二〇九節
マ太六八本二一〇節
マ太六八本二一一節
マ太六八本二一二節
マ太六八本二一三節
マ太六八本二一四節
マ太六八本二一五節
マ太六八本二一六節
マ太六八本二一七節
マ太六八本二一八節
マ太六八本二一九節
マ太六八本二二〇節
マ太六八本二二一節
マ太六八本二二二節
マ太六八本二二三節
マ太六八本二二四節
マ太六八本二二五節
マ太六八本二二六節
マ太六八本二二七節
マ太六八本二二八節
マ太六八本二二九節
マ太六八本二三〇節
マ太六八本二三一節
マ太六八本二三二節
マ太六八本二三三節
マ太六八本二三四節
マ太六八本二三五節
マ太六八本二三六節
マ太六八本二三七節
マ太六八本二三八節
マ太六八本二三九節
マ太六八本二四〇節
マ太六八本二四一節
マ太六八本二四二節
マ太六八本二四三節
マ太六八本二四四節
マ太六八本二四五節
マ太六八本二四六節
マ太六八本二四七節
マ太六八本二四八節
マ太六八本二四九節
マ太六八本二五〇節
マ太六八本二五一節
マ太六八本二五二節
マ太六八本二五三節
マ太六八本二五四節
マ太六八本二五五節
マ太六八本二五六節
マ太六八本二五七節
マ太六八本二五八節
マ太六八本二五九節
マ太六八本二六〇節
マ太六八本二六一節
マ太六八本二六二節
マ太六八本二六三節
マ太六八本二六四節
マ太六八本二六五節
マ太六八本二六六節
マ太六八本二六七節
マ太六八本二六八節
マ太六八本二六九節
マ太六八本二七〇節
マ太六八本二七一節
マ太六八本二七二節
マ太六八本二七三節
マ太六八本二七四節
マ太六八本二七五節
マ太六八本二七六節
マ太六八本二七七節
マ太六八本二七八節
マ太六八本二七九節
マ太六八本二八〇節
マ太六八本二八一節
マ太六八本二八二節
マ太六八本二八三節
マ太六八本二八四節
マ太六八本二八五節
マ太六八本二八六節
マ太六八本二八七節
マ太六八本二八八節
マ太六八本二八九節
マ太六八本二九〇節
マ太六八本二九一節
マ太六八本二九二節
マ太六八本二九三節
マ太六八本二九四節
マ太六八本二九五節
マ太六八本二九六節
マ太六八本二九七節
マ太六八本二九八節
マ太六八本二九九節
マ太六八本三〇〇節

工の田を買ひ 故に其田今に至るまで血と稱する 是に於て預言者エレミヤに記ひられたる言に「
 エラエルの民に告げられし者の價の銀三十千を取 主の我に命せし如く爾工の田を買ひて有に應へり
 ○ 僕イエス方伯の前にたつ方伯イエスに問て曰ける「爾ハニダヤ人の王なるカイエス之に曰ける「爾
 が言る如し 祭司の長老たち彼を説くも何の答もせず 是に於てピラト彼に曰ける「此人々なん
 ぢに立る誰のかく大あるを爾がさざる手 方伯の喜奇とするまで「イエス」言も答せざりき 此の祭の
 日に「方伯より民の願に任せて一人の囚人を釋の例あり 時に「バラバ」と云る一人の名高き囚人ありけれ
 と「ピラト」民の集りしとき彼等に曰ける「バラバ」か又「キリスト」と稱ふる「イエス」を我に處べ
 ばに釋さんてを望むや彼等「バラバ」と答ふ ピラト曰ける「然らばキリスト」と稱ふる「イエス」を我に處べ
 ざか無ひ「キリスト」架に釘よと 方伯ひひける「彼にの惡事をなし彼等はず」 嗚呼て十字架に釘よと
 曰「ピラト」の言の益なくして唯亂の起んとすをまり「水」を取て人々の前手手をわらひ曰ける「此義者
 の血に我の罪悉し彌曹みづから之に當れ 民み答て曰ける「其血ハ我儕と我儕の子孫に係るべし 是
 に於て「バラバ」を彼等に釋し「イエス」を鞭ちて之を十字架に釘九爲に付したり 方伯の兵卒「イエス」を捕へ公
 應に至り全營を其もとに集め 彼の衣を裸て綠色の袍を着せ 縛めて鼻を縛らざる首に冠しめ又筆を右手
 に持せ且「の」前に跪き「嘲弄」して曰ける「ニダヤ人の王安かれ 又彼亦唾し其筆を取て其首を擧り

馬太福音 第二十七章 八至三十一節
 一 馬太福音 二四三三
 二 馬太福音 二四三三
 三 馬太福音 二四三三
 四 馬太福音 二四三三
 五 馬太福音 二四三三
 六 馬太福音 二四三三
 七 馬太福音 二四三三
 八 馬太福音 二四三三
 九 馬太福音 二四三三
 十 馬太福音 二四三三
 十一 馬太福音 二四三三
 十二 馬太福音 二四三三
 十三 馬太福音 二四三三
 十四 馬太福音 二四三三
 十五 馬太福音 二四三三
 十六 馬太福音 二四三三
 十七 馬太福音 二四三三
 十八 馬太福音 二四三三
 十九 馬太福音 二四三三
 二十 馬太福音 二四三三
 二十一 馬太福音 二四三三
 二十二 馬太福音 二四三三
 二十三 馬太福音 二四三三
 二十四 馬太福音 二四三三
 二十五 馬太福音 二四三三
 二十六 馬太福音 二四三三
 二十七 馬太福音 二四三三
 二十八 馬太福音 二四三三
 二十九 馬太福音 二四三三
 三十 馬太福音 二四三三
 三十一 馬太福音 二四三三
 三十二 馬太福音 二四三三
 三十三 馬太福音 二四三三
 三十四 馬太福音 二四三三
 三十五 馬太福音 二四三三
 三十六 馬太福音 二四三三
 三十七 馬太福音 二四三三
 三十八 馬太福音 二四三三
 三十九 馬太福音 二四三三
 四十 馬太福音 二四三三
 四十一 馬太福音 二四三三
 四十二 馬太福音 二四三三
 四十三 馬太福音 二四三三
 四十四 馬太福音 二四三三
 四十五 馬太福音 二四三三
 四十六 馬太福音 二四三三
 四十七 馬太福音 二四三三
 四十八 馬太福音 二四三三
 四十九 馬太福音 二四三三
 五十 馬太福音 二四三三

嘲弄し畢りて其袍をはき故衣をき十字架に釘して彼を曳ゆく 彼の出し時「クレソ」の「モ」といふ
 者も過げられ強て之を十字架を負せたり ○ 彼等「エルム」譯ハ即ち「磔機」と云る處に來り 脚に腰を和
 せて「イエス」に飲せんと爲たりしに管て飲とせせざりき 斯て「イエス」を十字架に釘し其腰を掛て其衣
 を分て之預言者の言に「彼等互に我が衣を分わが裏衣を圖にすと云しに應へり 兵卒こゝに坐して「イエス
 を守れり 又た罪標に此「ニダヤ」人の王「イエス」なりと書して其首の上に置り 其とき二人の盜賊「イエス
 と同伴に一人其右一人其左に十字架に釘らる ○ 往來の者「イエス」を言方首を擡て曰ける「 腰を擧ぐ
 て三日に之を越る者よ自己を救へ 爾もし神の子ならば十字架より下よ 祭司の長老等も亦おなじ
 く嘲弄して曰ける「 人を救て己が身を救めたる若し「エラエルの」王たらば今十字架より下るべし然ら
 ば我儕かれを信せん 彼ハ神に依頼めり 神もし彼を愛しまば今救ふべし 蓋かれ我ハ神の子なりと云し也
 同に十字架に釘られたる盜賊も同く「イエス」を言れり ○ 晝の十二時より三時に至るまで其地わななく黒
 暗となる 三時ごろ「イエス」大聲に「エリ」リ「エリ」リ「エリ」リ「エリ」リと叫びて呼りぬ之を譯ハ吾神がハ神なり我を遺た
 ると云る也 旁に立たる者ら武人これを開て彼「エリ」リを呼るなりと曰 中の一人直か
 走り往て流線をとり脚を合せ之を墓につけて「イエス」を飲しむ 餘人曰ける「ハ候「エリ」リ來りて彼を救ふや
 否試せし ○ 「イエス」また大聲に呼りて氣絶たり 厥の幔上より下まで裂て二とかり又地を裂ひ磐さけ
 墓ひらけて既も寢たる聖徒の身おほく墮へり「イエス」の甦れる後 墓を出て聖城に入り居はくの人も現れた
 り ○ 百夫の長と信小「イエス」を守たるもの地震および其有し事を見て甚く懼れ此ハ神に神の子なりと曰
 り ○ 此處に遙に望みたる多の婦ありし彼等「ガリラヤ」より「イエス」に從ひ事し者等なり 其中あり居し者

新約全書 馬太傳 第二十七章 八至三十一節
 一 馬太福音 二四三三
 二 馬太福音 二四三三
 三 馬太福音 二四三三
 四 馬太福音 二四三三
 五 馬太福音 二四三三
 六 馬太福音 二四三三
 七 馬太福音 二四三三
 八 馬太福音 二四三三
 九 馬太福音 二四三三
 十 馬太福音 二四三三
 十一 馬太福音 二四三三
 十二 馬太福音 二四三三
 十三 馬太福音 二四三三
 十四 馬太福音 二四三三
 十五 馬太福音 二四三三
 十六 馬太福音 二四三三
 十七 馬太福音 二四三三
 十八 馬太福音 二四三三
 十九 馬太福音 二四三三
 二十 馬太福音 二四三三
 二十一 馬太福音 二四三三
 二十二 馬太福音 二四三三
 二十三 馬太福音 二四三三
 二十四 馬太福音 二四三三
 二十五 馬太福音 二四三三
 二十六 馬太福音 二四三三
 二十七 馬太福音 二四三三
 二十八 馬太福音 二四三三
 二十九 馬太福音 二四三三
 三十 馬太福音 二四三三
 三十一 馬太福音 二四三三
 三十二 馬太福音 二四三三
 三十三 馬太福音 二四三三
 三十四 馬太福音 二四三三
 三十五 馬太福音 二四三三
 三十六 馬太福音 二四三三
 三十七 馬太福音 二四三三
 三十八 馬太福音 二四三三
 三十九 馬太福音 二四三三
 四十 馬太福音 二四三三
 四十一 馬太福音 二四三三
 四十二 馬太福音 二四三三
 四十三 馬太福音 二四三三
 四十四 馬太福音 二四三三
 四十五 馬太福音 二四三三
 四十六 馬太福音 二四三三
 四十七 馬太福音 二四三三
 四十八 馬太福音 二四三三
 四十九 馬太福音 二四三三
 五十 馬太福音 二四三三

ハ可十四十二節三

五十節九六

五節五九

七本十〇二二十七

一〇八〇二一〇六

廿六七三〇九

六頁七

一頁一〇一

四頁一〇一

六頁一〇一

二頁十六

本十〇四十六

一七〇三十九

本十〇三十九

一頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

九頁十

ハマダラのマリアとヤコブヨセの母なるマリアとゼベダイの子等の母とあり。○日くれてイエスの弟

子あるヨセフと云るマリアとヤコブヨセの母とあり。○日くれてイエスの弟

と命ずヨセフを取て擲き棄布に裹み之を巻お繫たるヨセフに基にかき大なる石を墓の門に轉じ

て去マダラのマリアと他のマリアと墓に對て坐し其處に居り。○預備日の翌日祭司の長とパリサイ

の人等マダラの所に集來り日けるハ主よ我儂憶起せり彼の僞者いきて在しと三日のち變らんと言

し是故に命じて三日に至まで墓を固守しめと恐るハ其弟子夜きたりて之を窺み死より甦りたりと民に

言ん然ハ後の惑ハ先よりも愈勝るべし。○マダラト彼等に日けるハ守兵ハ爾曹にあり往て意のまゝに固守し

めよ。是に於て彼等ゆきて石に封印し守兵をして墓を固守せめたり。

安息日終つての七日の首の日黎明にマダラのマリア及び他のマリアの墓を観んとて

來りしに大なる地震ありて主の御者天より降り降り墓の門より石を轉じ其上に坐するの容貌ハ閃電のご

とく其衣服ハ雪のごとく白し守兵かれを懼き死たる者の如くなりぬ。○天使てたへて婦に日けるハ爾

曹おらると勿れ我なんらら十字架に釘られしイエスを尋ることを知彼ハ此在せず其言る如く甦りた

り爾曹きたりて主の置れし處を見よ。○且ゆきて其弟子に告よ彼ハ死より甦り爾曹に先ちてマダラに往

り彼處に於て爾曹かれを見べし我れこれ爾曹に告婦懼おがらも甚く喜びて急慕をさり其弟子お告んと

走り往り弟子お告んとて往どきイエス彼等小遇て安かれと日給ひければ婦すくみ其足を抱て拜しぬ。

イエス彼等に日けるハ懼るゝ勿れ去て我の兄弟にマダラに往て告よ彼處にて我を見べし。○婦の去し

のち守兵のうち或者も城に至り凡て有し事を祭司の長等に告し。○彼等と長老あつきて共に議か

はくハ銀子を兵卒お給て日けるハ爾曹いへ我儂が寢たる時々の弟子夜きたりて彼を竊りと。○此事もし

方伯に聞るども我儂かれヲ觀て爾曹に憂慮なからまめん。○かれら銀子を取て贖められたる如きたりし是

お於て此の如き話今日亦至るまでユダヤ人の中に傳播られたり。○十一の弟子ガリラヤに往てイエスの

彼等お命を給し所の山に至りイエスを見て拜せり然と疑へる者もあり。○イエス進て彼等に語ひひけ

るハ天のうちの地の凡の權を我に賜れり。○是故に爾曹ゆきて萬國の民にバプタスマを施し之を父と子

と聖靈の名に入て弟子とし且わが凡て爾曹に命ぜし言を守れと彼等に教よ夫れハ世の未まで常に爾

曹と偕に在なり。○

